

1 理念に基づく運営

評価項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	無回答 不明
1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念を作り、その理念を共有して実践に繋げて いる	3	4			
2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域と繋がりがながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	3	3	1		
3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合 いをしない、そこでの意見をサービス向上に活か している	2	5			
4	○身体拘束しないケアの実践 全ての職員が「指定基準における禁止の対象 となる具体的な行為」を正しく理解しており、 玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに 取り組んでいる	3	4			
5	○虐待防止の徹底 職員は高齢者虐待防止法について学ぶ機会 を持ち、事業所内での虐待が見逃されないよう 注意を払い、防止に努めている	2	5			
6	○運営に関する利用者・家族等の意見の反映 利用者家族等が意見、要望を職員ならびに、 外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に 反映させている	3	4			
7	○運営に関する職員意見の反映 運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会が 設けられ、運営に反映されている	2	3	1		1
8	○職員を育てる取り組み 職員一人一人が、法人内外の研修を受ける機会 を確保され、働きながらトレーニングしていくことが 進められている	3	4			
9	○同業者との交流を通じた向上 同業者と交流する機会を作り、ネットワーク作りや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの 質を向上させる取り組みをしている	3	1	3		

2 安心と信頼に向けた関係作りと支援

評価項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	無回答 不明
10	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っている事 不安な事、要望等に耳を傾けながら、本人の安心 を確保する為の関係作りに努めている	2	5			
11	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っている こと、不安な事、要望等に耳を傾けながら、関係 作りに努めている	3	4			
12	○本人を共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	2	5			
13	○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を 支えていく関係を築いている	3	4			
14	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所 との関係が途切れないよう、支援に努めている	2	5			
15	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人一人が孤立 せずに利用者同士が関わり合い、支え合える ような支援に努めている	2	5			

3 その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の 把握に努めている。困難な場合は、本人本位に 検討している	3	4			
17	○これまでの暮らしの把握 一人一人の生活歴や馴染みの暮らし方、生活 環境、これまでのサービス利用の経過等の把握 に努めている	2	5			
18	○暮らしの現状の把握 一人一人の一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	3	4			
19	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアの有り方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に 即した介護計画を作成している	2	4			1

評価項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	無回答 不明
20	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別計画に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	2	4			1
21	○一人一人を支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	3	4			
22	○地域資源との協働 一人一人が暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむ事が出来るよう支援している	2	1	3		1
23	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	3	4			
24	○看護職との協働 介護職は日常の関わりの中でとらえた情報や気付を、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	5	2			
25	○入退院時の医療関係との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように又、出来るだけ早期に退院出来るように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいはそうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行なっている	2	4			1
26	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期の有り方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	2	5			
27	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	2	1	3		1
28	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	2	2	3		

4 その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

評価項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	無回答 不明
29	○一人一人の尊厳とプライバシーの確保 一人一人の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねかねない言葉かけや対応をしている	2	5			
30	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定出来るように働きかけている	2	4			1
31	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人一人のペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	2	3	1		1
32	○身だしなみやおしゃれの支援 そのひとらしい身だしなみやおしゃれが出来るように支援している	2	5			
33	○食事を楽しむことが出来る支援 食事が楽しみなものになるよう、一人一人の好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	2	3	1		1
34	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保出来るように、一人一人の状態や力、習慣に応じた支援をしている	2	4			1
35	○口腔内の清潔保持 汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人一人の口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	3	4			
36	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	3	4			
37	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	2	5			
38	○入浴を楽しむ事ができる支援 一人一人のタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	3	1	3		
39	○安眠や休息の支援 一人一人の生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ち良く眠れるように支援している	2	5			

評価項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	無回答 不明
40	○服薬支援 一人ひとりが、使用している薬の目的や副作用 用法や用量について理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めている	3	4			
41	○役割、楽しみ事の支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、 一人一人の生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみ事、気分転換等の支援をしている	2	4			1
42	○日常的な外出支援 一人一人のその日の希望に沿って、戸外に出か けられるよう支援に努めている。又、普段は行け ないような場所でも、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら出かけられるように 支援している	2	1	3		1
43	○お金の所持や使う事の支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを 理解しており、一人一人の希望や力に応じ て、お金を所持したり使えるように支援している	2	1	3		1
44	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり 手紙のやり取りが出来るように支援している	2	1	3		1
45	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂 浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱 を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など) が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入 れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	2	5			
46	○共用空間における一人一人の居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った 利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所 の工夫をしている	2	5			
47	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊りの部屋は、本人や家族と相談 しながら、使い慣れたものや、好みのものを活か して、本人が居心地よく過ごせるような工夫をし ている	2	4			1
48	○一人一人の力を活かした安全な環境作り 建物内部は一人一人の「できること」「わかること」 を活かして、安全かつ出来るだけ自立した生活 が送れるように工夫している	2	4			1

※その他、お気づきの点があればご記入ください

- 引き続き地域の介護サービスの一翼を担っていただきますようご尽力をお願いします
- 入所者の希望に沿って外出することは大変だと思いますが身近な所で
季節を感じると良いですね
- 災害時の対応は職員だけでは、大変だと思うので日頃より地域や宝寿とも協力できる
ように日頃からの話し合いも必要と感じます